

Technical Data Sheet

2003/1/8

94-58405 Starlet/Harvest/American Heritage ガラス交換キット

キットに含まれるもの

3030-025	ガラス	1枚
3160-080	ガラス用ガスケット(フラット)	150 cm

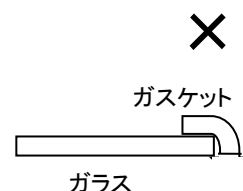
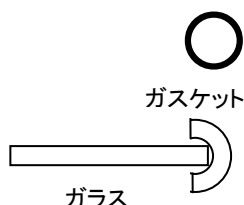
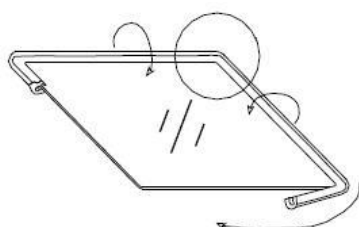
ご用意いただくもの

はさみ、ドライバー、ワイヤーブラシ、作業用グローブ、潤滑スプレー(必要に応じて)

始める前に

- 必ずストーブが冷めた状態で作業してください。
- 割れたガラスの扱いには十分ご注意ください。
- ガラスに表と裏はありませんので、どちらの面が表でも構いません。
- ネジをきつく締めすぎないようにご注意ください。ガラスは熱で膨張しますので、きつく締めすぎるとヒビや破損の原因になります。

1. ドアを開け、そのまま上へ持ち上げてストーブ本体からドアを外します。ヒンジピンとワッシャーは元に戻すときのためになくさないようにしてください。ドアの正面を下にして、作業しやすい場所に置きます。エナメルドアは、表面を傷つけないようやわらかい布などで保護してください。
2. クリップを固定しているネジを外します。(ネジが錆びついて外れにくい場合は潤滑スプレーを塗布後しばらく置いてください) 外したクリップとネジはなくさないようご注意ください。作業用グローブをはめ、割れたガラスを慎重に取り外し、廃棄してください。
3. 新しいガラスにガスケットを取り付けます。ガスケットについている紙をはがし(最初は一部)、ガラスのふちを均等に包むようにガスケットを貼っていきます。余分な分はカットしてください。
4. 新しいガラスをセットし、クリップとネジで元通りに固定します。この時、ネジをきつく締めすぎないようにご注意ください。
5. ガラスを取り付けたらドアをストーブに戻します。この作業は一人がガラスドアを持ち、もう一人がワッシャーを挟みピンを入れるようにすると楽です。



鋳物のサビが原因でガラスが割れるケースがありました。錆びが盛り上がり、ガラスが圧迫されて破損の原因となったようです。ガラス交換の際には、鋳物のサビをきれいに落としてください。また、スプレー式の液状ガラスクリーナーをお使いの場合は、吹き付けた液体がたれてドア下部にたまり、サビやガスケット硬化の原因となりますので、液だれしないようご注意ください。